

(5) 参加と協働

①自主的な活動の育成・支援

◆堺市環境活動表彰

持続可能な社会を構築する諸活動を実践し、環境活動推進に顕著な功績のあった個人又は企業等に対し表彰を行う「堺市環境活動表彰」を実施し、平成 24 年度は、下記の受賞者に対し表彰を行いました。

平成 24 年度 第3回堺市環境活動表彰受賞者(敬称略)

堺市立浜寺石津小学校：堺市教育委員会の ESD プログラムの実施のほか、校内でのグリーンカーテンの設置やペットボトルキャップの回収、環境に関する出前授業の受講等の環境活動の取り組み

NPO法人共生の森：大阪府が実施する堺第 7-3 区共生の森での植樹や草刈り、苗木づくり等、森づくり活動の実施のほか、共生の森における植栽計画の検討、堺エコロジー大学事業や共生の森全体会議等の行政との協働による活動

②環境教育・学習の推進

◆堺市環境教育基本方針

「第 2 次堺市環境基本計画」に規定した環境教育の推進を図るため、平成 21 年 5 月に、持続可能な開発のための教育（ESD）の視点を取り入れた「堺市環境教育基本方針」を策定しました。

★ESDとは

「持続可能な開発のための教育（Education for Sustainable Development）」の頭文字をとったもので、地球上の資源の有限性を認識し、新しい社会秩序を形成していく、地球的な視野を持つ人材の育成をめざした教育のことで、その範囲は、環境、福祉、平和、開発、ジェンダーなど多岐にわたります。

◆堺エコロジー大学

低炭素都市「クールシティ・堺」実現のため、市民、NPO団体、企業、大学等と連携し、環境人材育成の仕組みとして、平成22年10月に「堺エコロジー大学」を開校しました。また、平成23年10月には、大阪府立大学との連携による「専門コース」を新設しました。平成24年度は、「ソーラークッカー体験教室」や「エコ街道サイクルツアー」など、子どもから大人まで幅広い層を対象とした一般講座138講座と専門コース（第2期）を開講しました。

また、堺エコロジー大学の理念に賛同し、積極的に講座の実施や講師等として参加いただける個人や団体が「エコ大パートナー」として協力・活躍しています。

平成 24 年度からは、専門コース修了生への活躍の場を提供することを目的とした「堺エコロジー大学サポーター（エコ大サポーター）登録制度」を設置し、環境共生のまちづくりを支える人材の育成に向けた取組みを進めています。



◆イベントでの普及啓発

私たち一人一人の行動が環境問題と深く関わりを持つことを認識してもらうために、身近な環境問題から地球規模の環境問題まで市民とともに楽しみながら学ぶ機会として、イベントでのブース等を活用し、啓発活動を実施しています。平成 24 年度は各区民まつり等において、各種パネル・リサイクル製品の展示やリサイクル工程の紹介など、ごみの減量化・資源化の啓発を行いました。

◆堺市環境学習副読本「わたしたちと環境」

堺の自然やごみ処理、地球温暖化問題等の内容を掲載した、環境学習副読本「わたしたちと環境」（平成24年度版）を作成し、市内小学校 4 年生全員に配布し、環境教育の教材としています。



環境学習副読本「わたしたちと環境」

◆関西大学との地域連携事業

～熊野本宮子どもエコツアー～

「堺エコロジー大学」では、関西大学人間健康学部(堺キャンパス)と連携し、かつて本市と友好都市提携していた和歌山県田辺市本宮地区(旧本宮町)をフィールドに、市民(子ども)×大学生(キャンプリーダー)×地域住民(現地指導者)が交流する新しいスタイルの自然体験学習を、平成 24 年 8 月 24 日(金)～26 日(日)の 3 日間実施しました。堺市内在住の小学 5・6 年生 21 人が参加し、川での生き物観察や林業体験などを通じて、充実した自然体験学習を行うとともに地域連携の促進にもつながりました。



集合写真



林業体験の様子